



衆議院議員

このチラシを周囲にお配りいただける方募集中！

きいたかし

城井 崇 レポート 2018.初夏

きいたかし後援会事務所
〒802-0072 福岡県北九州市
小倉北区東篠崎1-4-1-201
TEL. 093-941-7767
FAX. 093-941-5535
メール smile@kiitaka.net
きいたかしウェブサイト
http://www.kiitaka.net

通常国会の活動報告

衆議院文部科学委員会理事、科学技術特別委員会委員として活動中

現実的な改革提案を国会で競います

皆さんこんにちは。
衆議院議員のきいたかしです。
日頃からのご支援本当にありがとうございます。
おかげさまで昨年秋の衆議院選挙で約5年ぶりに国会復帰させていただいてから約7ヶ月。毎週地元と国会を往復しながら、「地元の声を国会へつなぎ、改革を促す」活動を積み重ねています。今回はその活動の一端をご報告させていただきます。ご笑覧頂ければ幸いです。



●5/7 国民民主党設立大会・全議員を代表してガンバロウ三唱

地元での政治活動も16年目。「人様のお役に立つ」との初志を貫き、「世界が振り返る教育・科学技術立国日本の実現」「この国と国民を守りたい」との約束を果たすべく、国会と地元の活動に全力を挙げています。まず地元北九州市の国への要望を政府に伝え、改革を促す活動から始めました。国会活動では、一方的なレッテル貼りには与せず、法律と科学的根拠に基づく冷静な議論に徹しています。今国会では、「働き方改革」の対案や「公文書改ざん防止法案」という対案も仲間と国会提出、年金・医療・介護・子育て支援など暮らしの安心につながるしくみの対案も検討しています。根拠や裏付けのある現実的な政策提案・対案を政府与党と競う姿勢を貫きます。

この度国民民主党に参加することにいたしました。先に述べた約束を果たすため、そして政権と政策の受け皿となる政党を中から磨き育てるという当初からの目標を遂げるためです。私は、「リベラルの中の現実主義路線」（リアル・リベラル）を目指す

ことを明確にすべきと考えて、希望の党でも新党の議論でも訴えてきました。暮らしはリベラル、憲法・安全保障・エネルギーは現実的というスタンスで、穏健保守から中道、リベラルまでを包摂する、安心感ある国民政党を創るべきとの主張です。党においては、副幹事長、広報局長を拝命しました。安倍自民党政権に対峙対抗していく野党連携の要の政党とすべく努力したいと思ひます。

これから一年は、私自身が皆様のお役に立つ仕事をするに加え、福岡県議選をはじめとした統一地方選挙に臨む仲間の全員当選、来夏の参議院選挙での勝利を積み重ねて、民主主義の基盤を壊し、おごりと緩みの著しい安倍自民党政権に代わる政治勢力を必ずや打ち立てるべく精進します。引き続きのご支援をお願いできれば幸いです。

衆議院議員 きい たかし 拝

政治活動
15周年

衆議院議員

きいたかし

政経セミナー

とき

7月13日(金) 18:00 受付
18:30 開会

ところ

ステーションホテル小倉 5F 飛翔の間

ゲスト

井手 英策 / 前原 誠司

慶應義塾大学経済学部教授

元外務大臣・衆議院議員

会費

10,000 円

※飲食がございます。公共交通機関をご利用下さい。
※この催物は政治資金規正法第8条の2に規定する政治資金パーティーです。

主催

きいたかし後援会

お申込み・お問い合わせ

☎ 093-941-7767



地元で共に頑張る
仲間たちを紹介します



はらだ ひろし

原田 博史

福岡県議会議員（小倉北区）3期



せら としあき

世良 俊明

北九州市議会議員（小倉北区）7期



おくむら なおき

奥村 直樹

北九州市議会議員（門司区）3期



いずみ ひでお

泉 日出夫

前福岡県議会議員（小倉南区）2期



ワンコイン維新くらぶで
きいたかしを応援しよう！

ワンコイン維新くらぶとは？

きいたかし が日本をリードする政治家に成長するように応援し支えるボランティアクラブです。
ワンコイン→500 円を毎月献金することで、特定のどこからも、誰からも、しがらみなく自由な政治活動が出来ることを目指します。
今後、政治活動に関わる資金は個人献金中心に切り替えて行くべきです。
政治を市民の手に取り返す、新しい政治参加の「北九州スタイル」として取り組み成果をあげ、全国に発信したいと考えます。

参加方法

入会は随時受付いたします。また、退会は自由です。
次の3通りの方法で会費を承っています。
1 郵便局 口座自動振替 2. 銀行 口座自動振替
3. 現金による集金
ワンコイン 500 円＝1 口をお願いしております。

お問い合わせ

☎ 093-941-7767

衆議院議員 **きいたかし**（城井 崇）のプロフィール

地元北九州で東奔西走。1男2女のパパとしても子育て奮闘中。

1973年(昭和48年)北九州市門司区生まれ。田野浦小、早稲中、門司高、北九州予備校(2浪)、京都大学卒。松下政経塾、前原誠司代議士秘書等を経て、03年衆院選で初当選。09、17年衆院選で当選(現在3期目)。文部科学大臣政務官、衆院予算委理事、事業仕分け第3弾仕分け人等を歴任。現在、衆院文部科学委理事、科学技術イノベーション特委員。得意分野:教育、科学技術、安全保障、行政改革。好きな食べ物:ラーメン。



 **きいたかし** が**衆予算委**質疑で**早期実現**を**要望**しました

地元・北九州市の要望した予算を獲得！

衆議院予算委員会で質疑。地元・北九州市からの要望である、北九州空港の機能拡充・利用促進、北九州港廃棄物海面処分場の整備促進、都市のコンパクト化支援（小倉都心地区、小倉駅南口東地区、城野駅南地区など）、北九州市内の主要幹線道路（国道199号線砂津バイパス、恒見朽網線、湯川飛行場線、日明渡船場線、都市計画道路砂津長浜線など）の整備推進、関門航路及び北九州港の整備促進や、民有地のがけ崩れ復旧補助の拡大を望む地元の声を直接届けることができました。質疑が実り、箇所付けで多くの予算を獲得。国土交通大臣や国土交通省の答弁を精査してさらに取り組みを強めます。



●2/23 衆予算委員会第八分科会

 **きいたかし**が**座長**として野党 6 党の追及を取りまとめました

教育現場への不当な介入はあってはならない



●3/16 FNN ニュースより

文部科学省による教育現場への介入の問題、野党6党ヒアリングを開催、座長を務めました。何がきっかけで（誰から言われて）大臣など政務三役の指示なく個別の学校の授業内容や講師の言動の調査に走ったのか。異例の調査の法的根拠は何か。確認すべきことは多くあります。教育現場への国家権力の介入はあってはならない、というのが我が国の基本中の基本です。私が文部科学大臣政務官だった時も含め、文部科学省は教育現場への介入には極めて抑制的だったのに何でこういう介入に走ったか、冷静に確かめ、委員会質疑で再発防止にくぎを刺しました。

 **きいたかし** が提出した**質問主意書**で**新事実が発覚**しました

公用電子メール自動廃棄の実態を明らかに

公用電子メールの廃棄について、質問主意書を提出。省庁が自動廃棄していた問題を質しました。質問前までは、財務省と国土交通省だけしかメールの自動廃棄が明らかになっていませんでしたが、なんとその他にも検察庁、国税庁、厚生労働省、防衛省で自動廃棄されている事実が明らかになりました。事後の政策検証のためには行政文書として全メールを保存すべきです。テレビや新聞各紙でも大きく報じられました。

●2/3 付読売新聞より



 **きいたかし** は**国会質疑**にも**質問主意書**にも全力で取り組んでいます

政府を質す、国会質疑10回、質問主意書24本

国会に復帰させていただいてから、5月25日までに国会質疑10回、質問主意書24本という国会での質問の機会を頂きました。国会質疑が委員会で口頭で行うものであるのに対して、質問主意書は文書による質問です。答弁は閣議で決定されて、衆議院議長を経由し、きいたかしへ届きます。きいたかしのウェブサイト（www.kiitaka.net）で質問内容とその詳細をご覧ください。

きいたかし が提出した質問主意書	
地元・北九州市関連	
●北九州市の産業振興に関する質問主意書 ●北九州空港の機能拡充と利用促進に関する質問主意書 ●暴力団対策の推進に関する質問主意書 ●首都圏等の企業の地方移転や地方拠点の強化に関する質問主意書 ●地方や「まちなか」への移住・定住促進に関する質問主意書 ●北部九州での次世代自動車産業の拠点化に関する質問主意書	●セルフメディケーション推進のための医療費控除の特例に関する質問主意書 ●米国との有償軍事援助における日本からの前払い金の余剰金未精算分に関する質問主意書 ●大臣、副大臣、大臣政務官、国会議員等の活動の記録と保存に関する質問主意書 ●日本音楽著作権協会による音楽教室からの著作権使用料徴収に関する質問主意書 ●学校施設の老朽化対策の促進に関する質問主意書 ●政府において検討されているプロバイダに対する著作権侵害サイトの接続遮断要請に関する質問主意書 ●鯨類科学調査計画の実施および調査母船の建造に関する質問主意書 ●各府省庁の災害関連情報システムに係る整備、運用等の状況に関する質問主意書 ●大臣、副大臣、大臣政務官の携帯電話等を用いた電子メール等による連絡等に関する質問主意書 ●柳瀬唯夫元総理秘書官と加計学園関係者との三回にわたる面会に関する質問主意書
●政府ドメインの統一に関する質問主意書 ●公用電子メールの廃棄に関する質問主意書 ●森林環境税の多重の税負担の可能性に関する質問主意書 ●陸上自衛隊目達原駐屯地所属ヘリコプターの墜落事故に関する質問主意書 ●東シナ海におけるタンカー衝突事故に関する質問主意書 ●日本相撲協会の公益認定に関する質問主意書 ●オリンピック・パラリンピック競技大会の知的財産保護に関する質問主意書 ●地域おこし協力隊の政策効果に関する質問主意書	

2018年5月25日現在

 **きいたかし** が**税金**の**ムダづかい 1,500 億円**を**追及**しました

内閣府の「お手盛り公募」はやり直すべきだ

内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム第2期事業の「お手盛り公募」について質問。公募研究と称していましたが、他府省も協力しながら事前に候補者を決め、各課題の詳しい状況を伝えて応募を促していました。12課題のうち10課題で候補者がそのまま選ばれ、うち9課題は候補者が一人しかいませんでした。今年度だけでも325億円の税金が使われます。使われる税金の総額は1,500億円規模になります。募集はわずか2週間、ホームページ掲載のみの募集でした。公募は形ばかりです。中立性も公平性もありません。中央省庁都合の候補者が選ばれる仕組みです。公募と名乗るのも恥ずかしい。せっかくの前向きな取り組みが台無しです。募集と選考をやり直すべきです、と主張しました。内閣府は今後の公募や選考の見直しには言及しましたが、今回の公募と選考のやり直しを頑として認めませんでした。中立性も公平性も欠けた中、中央省庁お手盛りで決めた候補者に1,500億円もの税金を使うべきではありません。



●5/11 衆議院文部科学委員会